

専門性の高い検査室の構築を目指して

## 膠原病リウマチ痛風センター検査室

○制野大志\*<sup>1</sup> 福崎瑞穂\*<sup>1</sup> 富永絵衣子\*<sup>1</sup> 小山奈保子\*<sup>1</sup> 新井浩美\*<sup>1</sup> 女子医科大学附属  
リウマチ痛風センター  
\*<sup>1</sup> 北山淳子\*<sup>1</sup> 齊藤典子\*<sup>1</sup> 杉本道子\*<sup>1</sup> 三浦ひとみ\*<sup>1</sup> 南家由紀\*<sup>2</sup>

# 膠原病リウマチ痛風センターの概要

施設・・・本部 新宿区河田町  
NS 新宿区NSビル4階



外来患者数 約1万人/月

疾患割合 関節リウマチ・・・・・・・・67.9%

膠原病・・・・・・・・18.8%

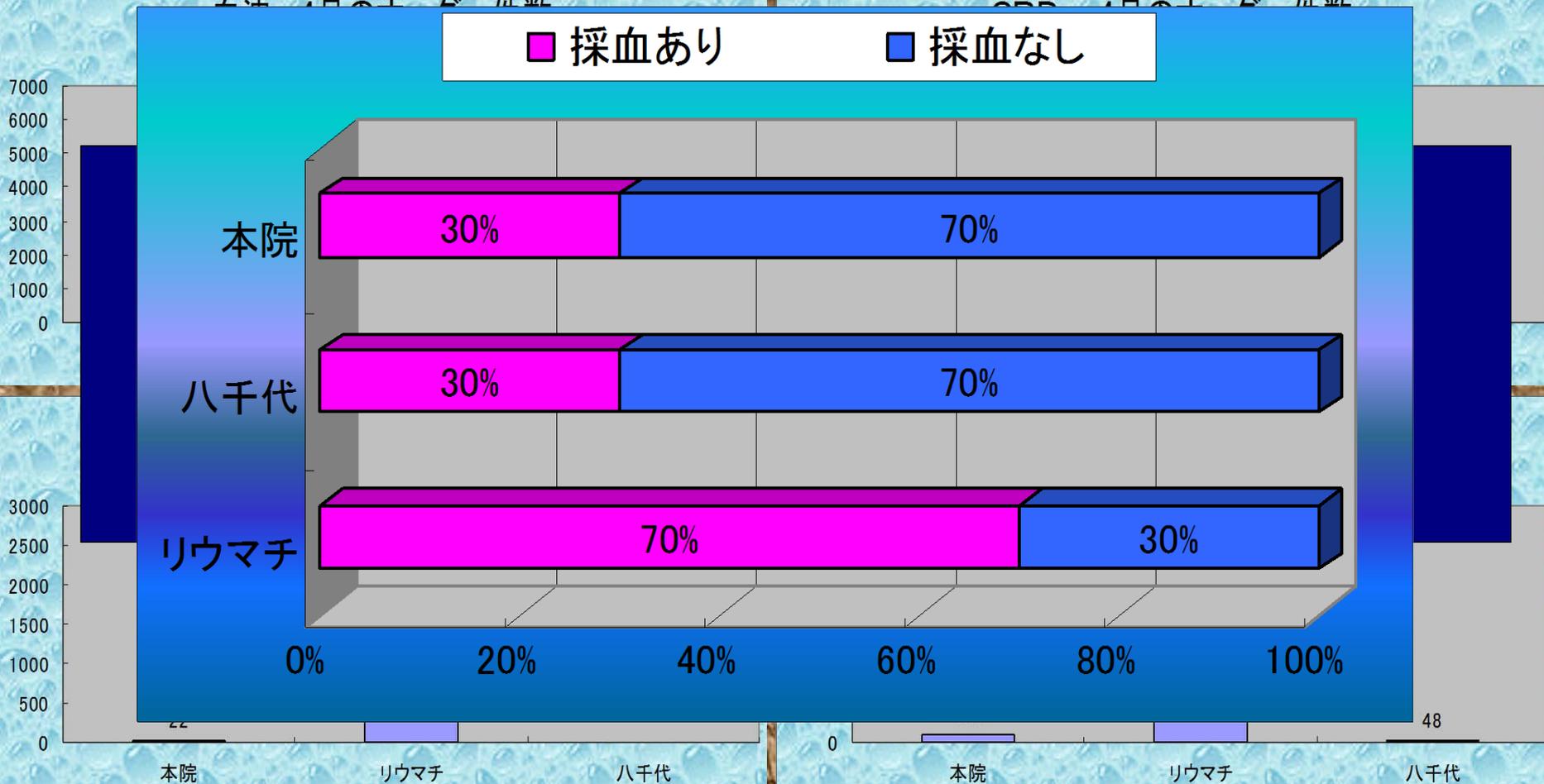
痛風・・・・・・・・8.7%

その他・・・・・・・・4.6%

# 膠原病リウマチ痛風センターの特徴

- 検査時にカルテが見れる
- 疾患が限定されている
- IORRAを行っている
- 外来患者数の採血割合が高い(項目限定)
- 生物学的製剤を用いた治療をしている
- 治験を行っている

# 関連施設との検査項目の比較



# 関節リウマチについて



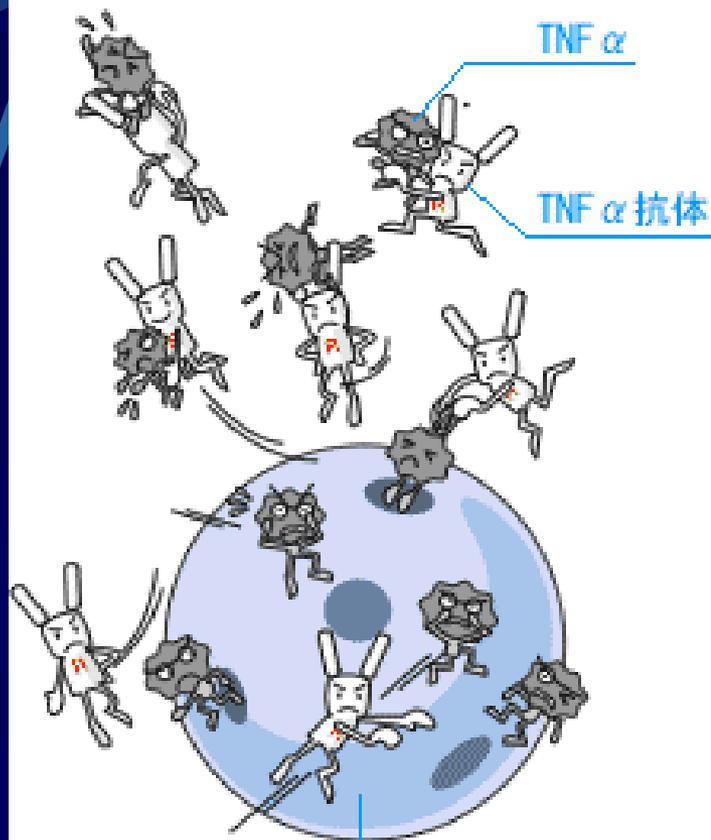
# 生物学的製剤について

名称	レミケード	エンブレル	アクテムラ	ヒュミラ
一般名	インフリキシマブ	エタネルセプト	トシリズマブ	アダリムマブ
成分	キメラ型抗TNF- $\alpha$ モノクローナル抗体	完全ヒト型可溶性 TNF $\alpha$ /LT $\alpha$ R抗体	ヒト化型抗IL-6R モノクローナル抗体	完全ヒト型抗TNF- $\alpha$ モノクローナル抗体
投与方法	点滴	皮下注射	点滴	皮下注射
投与間隔	初回・2週間後・6週間後 ・以降8週間に1度	週2回 (自己注射可)	4週間に1度	2週間に1度
リウマトレックス メソトレキセート	併用必須	併用・非併用 可	併用・非併用 可	併用・非併用 可
基本投与量	体重1kgあたり3mg	1回につき25mg	体重1kgあたり8mg	1回につき40mg
1ヶ月の 平均薬剤費	体重60kgの方で 約¥100,285(8週間隔時) 初月 約¥401,140 翌月 約¥200,570	月8回として 約¥122,472	体重60kgの方で 約¥141,560	月2回、1回40mgとして 約¥142,194
発売日	2003/7/1	2005/3/1	2008/4/1	2008/6/1

# 作用点

TNF $\alpha$ にくっつき、  
その働きを抑えます。

TNF $\alpha$ をつくっている  
細胞そのものを壊します。

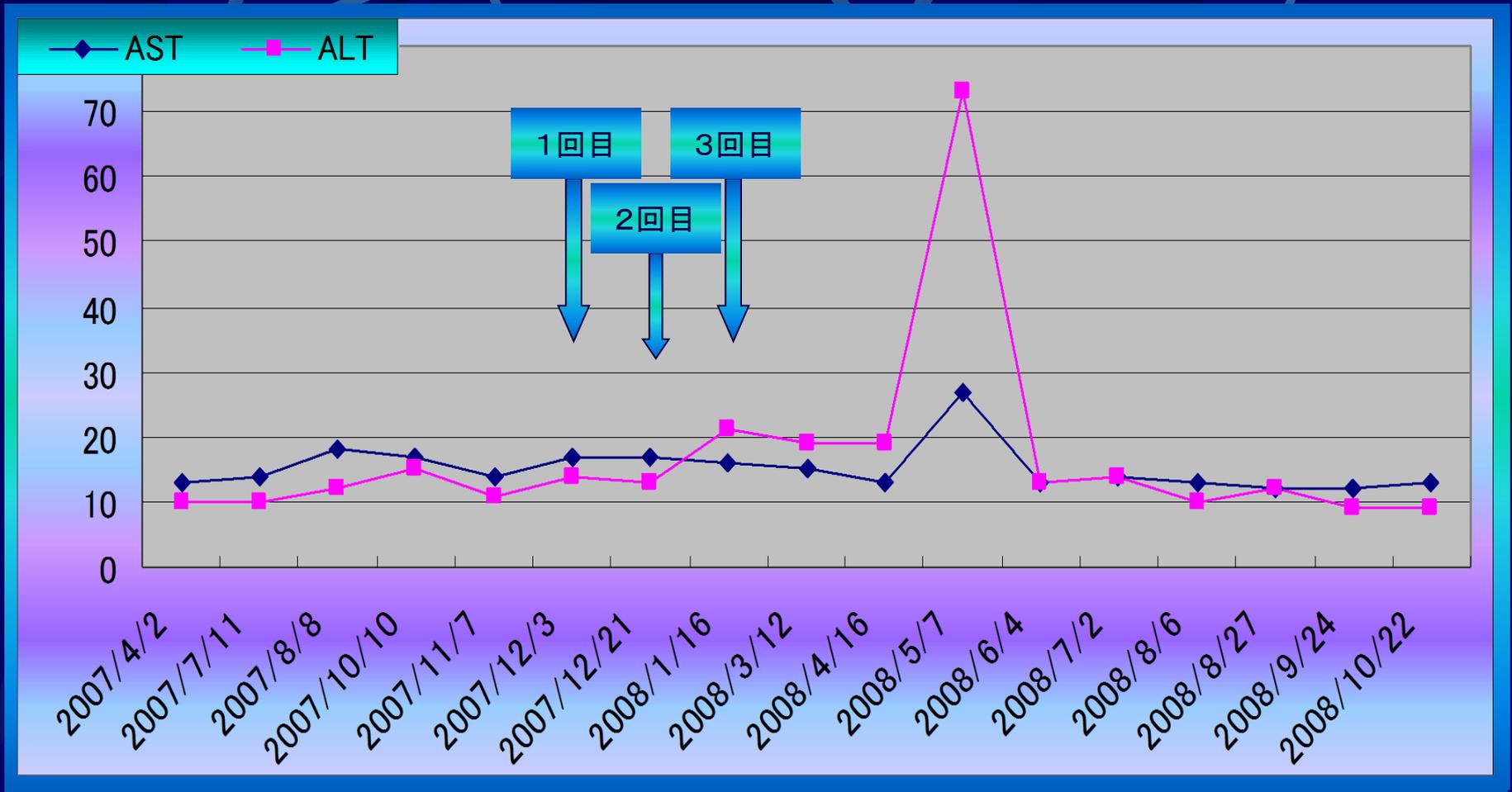


TNF $\alpha$ を  
作っている細胞

# 症例

- 非ステロイド性抗炎症剤やステロイド剤や抗リウマチ薬（メソレキセート）の投与にも関わらず、腫脹関節、疼痛関節は8箇所以上もあり、炎症反応も高値で、既存の治療には抵抗性であった。
- 自覚症状も強く、日常生活にも多大な支障を来すため、やむを得ず、平成19年12月3日よりレミケードの点滴投与を開始し、規定どおり2週間後に第2回目、6週間後に第3回目点滴投与を行った。
- 自他覚症状は改善し、CRPも0.02mg/dlと低下するなど効果があり、一方で特に重大な副作用もみられなかった。

# 症例



# 結語

- リウマチ性疾患の患者は、病態の把握に血液検査が必要不可欠なため採血割合が高く、検査室での迅速な採血や検査が診察の流れにも関わってくる重要な要素となる。
- 検査室では精確な結果を臨床に提供するだけでなく、治療におけるデータの変化を理解し検査を行うことが重要である。

ご清聴ありがとうございました。